

## オオボシオオスガ

春にマユミの枝や葉の間に糸を張り巡らし、集団で葉を食害するイモムシ（幼虫）。最大長20mm。体は黄色、黒い斑点がある。頭は黒い。

ときに多発する。



1. 巢内の幼虫.



2. 糸で枝にぶら下がっている幼虫.



3. 食害.

1～3. 1982/7. 鷗川町, マユミ.

### 【生態】

小さな幼虫で越冬し、5～6月にかけてマユミの葉を食べて成長する。幼虫は集団で糸を張り巡らし巣を作る。6月末頃に白い繭を作り、蛹になる。7月に蛾が羽化する。

### 【被害と防除】

ときに多発するが、たいてい1回で終わっている。木が枯れた記録はない。

庭木などで被害が気になるときは幼虫や繭を取り除いて駆除する。

1yochu.jpg, 1yochu2.jpg, 1higai.jpg

「写真1～3」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1982.